

コース番号 3K061

技能伝承のための部下・後輩指導育成

～技能伝承は、待ったなし！技能伝承の課題を解決しませんか？～

ものづくりの現場では、熟練者が長年培ってきた高度な技能が、企業の競争力を支える重要な資産となっています。しかし現在、その技能を持つ人材の高齢化が進み、技術の継承が急務となっています。一方で、「どう教えれば伝わるのか」「若手がなかなか育たない」といった悩みを抱える現場も少なくありません。

本コースでは、技能伝承の原則を踏まえ、具体的な進め方、ポイント、留意点等を講義とグループワークによる演習等により習得し、自社における技能伝承の課題を明確にしつつ(多様な視点を得る気づきにより)解決を図り、技能伝承の確立と効果的かつ継続的な人材育成を目指します。

開催日時	令和8年7月23日(木)～24日(金) 各日 9:30～16:30			時間数	12時間
定員	15名	受講料	13,500円	開催場所	四国職業能力開発大学校
カリキュラム	<div> <p>1. 日本における技能伝承の現状と課題</p> <p>2. 技能伝承とは</p> <p>3. 技能伝承の原則</p> <p>(1)日常業務として取り組む</p> <p>(2)計画的・組織的に取り組む</p> <p>(3)伝承対象を絞り込む</p> <p>(4)暗黙知の所在確認と明確化</p> <p>4. 技能伝承は「暗黙知」の管理がカギ</p> <p>(1)暗黙知を表現し管理する手順</p> <p>5. 技能伝承を成功させている企業の特徴</p> <p>6. 技能伝承が上手くいかない原因</p> <p>7. 技能伝承の進め方</p> <p>(1)組織作り</p> <p>(2)能力項目リストの作成</p> <p>(3)能力マップの作成</p> <p>(4)技能・技術伝承の対象技能の選定</p> <p>(5)伝承計画の作成</p> <p>(6)暗黙知の明確化作業</p> <p>(7)教材の準備</p> <p>(8)伝承指導の実施と成果の検証</p> <p>8. 技能伝承の進め方のポイントと留意点</p> <p>(1)暗黙知の見える化</p> <p>イ. 暗黙知と形式知の違い</p> <p>ロ. 暗黙知のタイプ分けと層別</p> <p>ハ. 暗黙知の明確化(見える化)</p> <p>・暗黙知を明確にするインタビュー</p> <p>・インタビューの具体的な進め方</p> <p>(2)能力項目リストの作成・活用</p> <p>イ. 能力項目リスト作成の進め方</p> <p>ロ. 能力項目リストの活用とは？</p> <p>(3)技能伝承テーマの設定と計画の作成</p> <p>(4)暗黙知を明確にして教材化する必要性</p> <p>イ. 熟練者の行動様式と作業理念を知る</p> <p>(5)暗黙知の明確化作業を日常的に行うには</p> <p>(6)技能伝承で「教える側」「教わる側」が注意すべきこと</p> <p>9. まとめ</p> </div>				
持参品	筆記用具				



【お問い合わせ】

四国職業能力開発大学校

〒763-0093 香川県丸亀市郡家町 3202 番地 TEL:0877-24-6298(援助計画課)

E-mail:shikoku-college03@jeed.go.jp